穂　学

令和５年度
広州日本人学校　学校便り
［Ｎｏ11］
令和５年９月19日（火）
発行責任者 校長　加藤康徳

「授業参観・学校保護者会（9/6）のアンケート結果」

年間行事計画では９月３日（土）に参観日を開催する予定でしたが、台風の影響で９月６日（水）に延期をして、平日に開催いたしました。その時のアンケートの集計が終わりましたので、結果をお知らせいたします。（※保護者の皆様のご協力に感謝いたします。）

＜中３年※職場体験のまとめを発表＞

＜授業参観の満足度＞①満足　②おおむね満足　③やや心配　④不安

満足←　→心配・不安　（人数）

	①	②	③	④	合計
１．授業の様子	１７８名	７０名	３名	０名	２５１名
２．子どもの様子	１２７名	１０９名	１３名	２名	２５１名

※小数第２位を四捨五入して表示

○満足度の算出方法

$$\frac{\text{満足（①②）} - \text{心配・不安（③④）}}{\text{回収総数（２５１）}} \times 100 = \text{満足度（\%）}$$

※PTA戸数は２７０

	満足度		
	１学期	２学期	３学期
１．授業の様子	９７．１％	９７．６％	
２．子どもの様子	８５．７％	８８％	

※概ね高い評価を頂けたと考えております。

＜自由記述に対する学校側の回答＞

※全体に関わる内容のご意見について、現時点での本校の考えも掲載しております。
※その他の内容については該当の教員に伝えております。
※お子様の様子で気になることがございましたら、遠慮することなく担任にお聴きください。

○「台風の影響で予定していた日に参観ができないのは仕方が無いが、延期しても土曜日開催が良かった。」

○「平日開催では仕事の関係で休みを取ることができないので、参観することができなかった。」

→　予期せぬ台風の影響により参観日を９月６日（水）の平日に延期したことで、お子様の学習の様子を参観することができなかった保護者の方がいたことは本校としても大変残念なことだと思っております。学校としては、参観日の「中止」の選択も含め「平日開催」「土曜日開催」など検討しましたが、最終的に以下の理由で９月６日（水）の平日開催とさせて頂きました。

①　各授業者は「保護者の方が授業を参観する」という非日常的な緊張感のある場面を通して、子どもたちの学習意欲を掻き立て、授業の進度を考えて授業の準備をしております。次の土曜日開催となると、１週間の間、準備をしている授業の進度を止めておかなければなりません。（※結果、授業の進度が遅れます。）よって、休み明けすぐの火曜日を授業の調整の日として余裕を持たせ、翌日の水曜日開催としました。

○「参観日開催の時期をもう少し遅くした方が良いのではないか。」

→　９月初旬の開催は以下の理由により日程を組んでおります。

①　例年、夏休みの間にたくさんの子ども達が本校に編入してくるため。
（※夏休み明けの早い時期に子どもの授業の様子を編入生の保護者に見てもらいたい。）
②　中学部では学習（受験対応含む）についての保護者懇談会を早めに実施する必要があるため。
③　９月は中旬以降、宿泊学習などの校外学習が予定されているため。
④　１０月は国慶節明けから運動会に向けた準備で忙しくなるため。

なお、中国政府による「ゼロコロナ政策」が変更となり、外部からの大勢の方々の来校が可能となったことや「複数学年にまたがる子どもの授業を時間に余裕をもって参観したい。」という保護者からの要望も考慮し、今年度から平日ではありますが運動会終了後、２学期後半の３日間の午前中に、どの日、どの時間でも自由に授業を参観して頂くことができる「自由授業参観日」（※来校の日時が自由のため保護者バスは利用できません。）を開催いたします。正式な日時については今月中に学校だよりでお知らせをいたします。

「スティックのりの寄贈を受けました。※トンボ鉛筆（大連）様より」

トンボ鉛筆（大連）様よりスティックのりを寄贈して頂きました。ありがとうございました。
なお、寄贈頂いたスティックのりは一人２本ずつ配布されます。

「小学部５年生の宿泊学習を実施しました。9/14-15」

＜学校経営のスローガン＞
「つながり」を「未来に実感」させる
広州日本人学校の創造

＜大切にする５つのつながり＞
①先生とのつながり
②授業とのつながり
③友だちとのつながり
④保護者・日本人社会とのつながり
⑤中国とのつながり

＜孫中山記念館＞

＜藍染体験＞

※今回の宿泊学習で、子どもたちは日本と中国とのつながりを学びました。

＜グアバ狩り＞